

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0609
施設名	丸子ベビー保育園
施設所在地	大田区下丸子3-21-17
法人名	社会福祉法人みくに会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動

<テーマの設定理由>

本園の舎が改装中であり、10月末まで臨時施設で保育を行っているため、園庭がなく、運動や遊びの内容が限られてしまいます。そのため、この期間中に借りている遊ぶための施設や委託している体操教室での成果目標としている前転や側転の実践運動と絡めた内容を実施し、子どもたちが学びながら運動時間を確保するため。

また、単に運動のメニューをこなすだけでなく自ら考えたり工夫したり探究をすることで、身体を動かすことに対してより楽しくポジティブになってほしいため。

2. 活動スケジュール

・毎月2回(グループごとに各1回ずつ)スタジオレッスン直前に探求学習を実施し、気づいたことをスタジオレッスンで実践する。

・7月：まっすぐ転がるものとまっすぐ転がらないものの違い

・8月：どうしたら上手にバランスがとれるのか

・9月：視線の使い方とバランスの関係

・10月：すごろく制作を通じて、運動会で学んだことの振り返りアウトプット

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

子どもたちが気づいたこと、考えたことを話し合い、共感したり試してみたりできるように、年齢ごとのグループに分けて活動を行った。少人数での活動を行うことによって保育者や友だちとの関わりを促した。

マットや跳び箱など、実践に必要な用具を用意し、気づいたことを自由に試してみることが出来る場を設定した。子どもから出たアイデアをテーマとして、考えるきっかけになるような問いかけや言葉がけを心掛けた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

前転、後転、側転などの運動について、単に運動するだけでなく、どうやったら上手にできるか、うまくできるかを考え、気づいたことを実践した。

まずはじめに、モノを転がすことから、うまく転がるモノとそうでないモノを視覚的にわかる状態で違いや発見をした。その中で子どもたちから出た『バランス』について着目する。どうするとモノのバランスがとれるか様々な形状のモノで試してみたり、ヒトのバランスについて様々な条件がバランスにどう影響するか、実際に目隠しや見る方向を変えて実践し、ヒトは目も使ってバランスをとっていることに気づいた。運動会で保護者に発表することを目標に、わかったこと、気づいたことを翌日のスタジオレッスンで実践する。最後に、すごろく作成として、どんなことを学んだか、役に立ったこと、頑張ったことなど振り返る。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

まっすぐ回ることにバランスが必要なことに気づいたり、まっすぐ転がるものを真剣に探して試してみたりと、テーマを深めようとしていた。普段あまり発言しない子も、考えて自分の意見を言葉で表したり、積極的に発見を発言する姿が見られた。バランスを試す実験では、土台の面に注目したりと、色々な視点から見ることができている。いままで「バランス」には気づけなかったが、「バランスをとる」ことを意識して実践している様子が見え始めた。年長児は目隠ししたり視線を変えたりしてチャレンジする変化を楽しみ、その違いを気付いていた。すごろく作成では、これまで学んだこと（バランス、体の形、スピード、視点など）について「やるべきこと」「やるべきではないこと」の意見が次々と出され、探究活動の成果を感じた。

ただ運動するだけでなく、探究活動を行うことにより、バランスや視線を意識して効果的に運動を行うことができた。どうやったらうまくいくのか、うまくいなくなるのか、できた原因、理由を考え、予測を立て、保育者や友だちと受け答えをする中で、論理的な思考を育む機会となった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

探究活動の中で、感じたこと、気づいたことを積極的に発言する姿が見られた。このような探究活動は、単に知識を得るだけでなく、自分の気持ちを言葉で伝える表現力やコミュニケーション能力の発達にも寄与していることが確認できた。

[どうしたら上手にバランスがとれるの?]という問いに対して、気づいたことを実際に試してみる場があることで、予測が正しいことを証明し、さらなる探究につなげることができた。気づきを実践できる環境の提供が重要であると感じた。

これらの気づきを通じて、今後の保育実践においては、子どもたちの興味に応じた探究活動を設計し、自己表現やコミュニケーション能力をさらに引き出すような環境づくりに努めたいと考える。また、活動後の振り返りを積極的に取り入れ、子どもたち自身が学びを振り返る時間を大切にしていくことで、より深い理解と成長を促していきたいと思う。